

平成20年4月の火災・救急・救助ニュースについて

火 災

1 火災概況

は減を示す

区 分	本 年 4 月	前 年 4 月	本 年 累 計A	前 年 同 期 累 計B	増 減 A - B
出火件数合計(件)	13	13	48	88	40
建物火災	5	7	20	32	12
林野火災	0	0	3	18	15
車両火災	2	1	5	8	3
船舶火災	0	0	0	0	0
その他の火災	6	5	20	30	10
建物焼損床面積(m ²)	1	363	1,337	788	549
損害額合計(千円)	7	3,382	75,150	27,578	47,572
死者(人)	0	0	3	2	1
負傷者(人)	0	2	7	9	2

2 出火原因

区 分	本 年 4 月	本 年 累 計	区 分	本 年 4 月	本 年 累 計	区 分	本 年 4 月	本 年 累 計
たばこ	0	1	排気管	0	0	灯火	0	0
こんろ	0	1	電気機器	0	1	衝突の火花	0	0
かまど	0	1	電気装置	0	0	取灰	0	0
風呂かまど	0	0	電灯・電話等の配線	0	0	火入れ	0	1
炉	0	0	内燃機関	0	0	放火	0	4
焼却炉	0	0	配線器具	0	1	放火の疑い	2	6
ストーブ	0	3	火あそび	0	1	その他	0	4
こたつ	0	0	マッチ・ライター	0	0	不明・調査中	11	17
ボイラー	0	0	たき火	0	7			
煙道・煙突	0	0	溶接機・切断機	0	0	合 計	13	48

建物焼損損害額、損害額、出火原因は確定値ではありません。

【住宅用火災警報器が義務設置になります】

4月は建物火災が5件発生し、その内2件が住宅火災でした。

本年4月までの火災件数累計は、前年同期と比べると40件の火災が減少しています。しかし、死者については、昨年より1名増加しています。みなさんも火の取扱いには十分注意しましょう。

なお、本年6月1日からは住宅用火災警報器が義務設置となりますので、お早めの設置をお願いします。

救 急

1 救急概況

区 分	本 4 年 月	前 4 年 月	本 累 計 年 A	前 年 同 期 累 計 B	増 減 A - B
出 動 件 数	899	945	3,879	3,680	199
搬 送 件 数	848	867	3,623	3,401	222
不 搬 送 件 数	51	78	256	279	23
搬 送 人 員	872	897	3,713	3,511	202

2 事故種別出動件数

区 分	本 4 年 月	本 累 計 年 計	区 分	本 4 年 月	本 累 計 年 計
火 災	0	12	一 般 負 傷	118	542
自 然 災 害	0	0	加 害	5	28
水 難	0	1	自 損 行 為	15	49
交 通	125	465	急 病	551	2,421
労 働 災 害	9	30	そ の 他	71	316
運 動 競 技	5	15	合 計	899	3,879

【救命講習を受けましょう】

いざというときに備えて、津市消防本部では、みなさんに応急手当を習得していただくため、救命講習を行っています。

救命講習のうち、普通救命講習の場合は3時間の講習で、人工呼吸や胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)、止血法などの基本的な救命技術を習得できます。

なお、上級救命講習会(8時間)も、年4回実施しています。

普通救命講習会(いずれも午後1時～4時)

奇数月の第2日曜日 中消防署(226-2580) 第4日曜日 白山消防署(262-1044)

偶数月の第2日曜日 久居消防署(254-1111) 第4日曜日 北消防署(232-3092)

救 助

1 救助概況

は減を示す

区 分	本 4 年 月	前 4 年 月	本 累 計 年 A	前 年 同 期 累 計 B	増 減 A - B
出 動 件 数	16	8	51	47	4
活 動 件 数	11	5	32	25	7
救 助 人 員	11	6	40	35	5

2 事故種別出動件数

区 分	本 4 年 月	本 累 計 年 計	区 分	本 4 年 月	本 累 計 年 計
火 災	0	5	建物等による事故	2	6
交 通 事 故	9	30	ガス及び酸欠事故	0	0
水 難 事 故	0	3	破 裂 事 故	0	0
風水害等自然事故	0	0	そ の 他 の 事 故	3	5
機械による事故	2	2	合 計	16	51

【シートベルトを着用しましょう】

本年4月までの救助出動件数累計は、前年同期と比べると4件の増加となっています。事故種別出動件数をみると圧倒的に交通事故が多くなっています。あなたも車に乗る時には、交通ルールを遵守し、必ずシートベルトを着用しましょう。